



平成 18 年 11 月 2 日

各 位

会社名 小野建株式会社
代表者名 代表取締役社長 小野 建
コード番号 7414 東証第一部・福証
本社所在地 大分県大分市大字鶴崎 1995 番地の 1
問合せ先 代表取締役専務 小野 哲司
093-561-0036

平成 19 年 3 月期業績予想の修正に関するお知らせ

平成 18 年 5 月 16 日に発表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 平成 19 年 3 月期中間業績予想の修正 (平成 18 年 4 月 1 日 ~ 平成 18 年 9 月 30 日)

(単位: 百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前回発表予想 (A)	59,892	2,066	1,178
今回修正予想 (B)	58,999	2,000	921
増減額 (B - A)	893	66	257
増 減 率 (%)	1.5	3.2	21.8
(ご参考)前中間期実績	56,570	2,035	1,153

2. 平成 19 年 3 月期中間連結業績予想の修正 (平成 18 年 4 月 1 日 ~ 平成 18 年 9 月 30 日)

(単位: 百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前回発表予想 (A)	59,777	2,170	1,194
今回修正予想 (B)	58,986	2,071	938
増減額 (B - A)	791	99	256
増 減 率 (%)	1.3	4.6	21.4
(ご参考)前中間期実績	56,383	2,249	1,254

3. 平成 19 年 3 月期業績予想の修正 (平成 18 年 4 月 1 日 ~ 平成 19 年 3 月 31 日)

(単位: 百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前回発表予想 (A)	1 2 1, 3 6 0	4, 1 1 8	2, 3 4 7
今回修正予想 (B)	1 2 1, 3 6 0	4, 1 1 8	2, 0 9 8
増減額 (B - A)	-	-	2 4 9
増 減 率 (%)	-	-	1 0 . 6
(ご参考) 前期実績	1 1 7, 9 8 2	4, 0 0 6	2, 3 2 4

(参考) 1 株当たり予想当期純利益 (通期) 101 円 49 銭

4. 平成 19 年 3 月期連結業績予想の修正 (平成 18 年 4 月 1 日 ~ 平成 19 年 3 月 31 日)

(単位: 百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前回発表予想 (A)	1 2 1, 0 6 6	4, 2 6 8	2, 3 4 8
今回修正予想 (B)	1 2 1, 0 6 6	4, 2 6 8	2, 1 8 5
増減額 (B - A)	-	-	1 6 3
増 減 率 (%)	-	-	6 . 9
(ご参考) 前期実績	1 1 7, 7 6 4	4, 3 5 7	2, 5 2 8

(参考) 1 株当たり予想当期純利益 (通期) 105 円 78 銭

5. 修正理由

当社を取り巻く経営環境は、依然として公共需要は伸び悩んでいるものの民間需要は堅調に推移しており、総じて改善する傾向となっております。そのようななかで、当社も「エリアの拡大」と「シェアの向上」を目指して、積極的に営業展開を行い、売上高はほぼ予想どおりに確保し、かつ、経常利益におきましても鉄鋼メーカーの強い価格上昇圧力のなかで、仕入価格の低減に努め、経常利益も予想並みに確保できました。

しかしながら、今後の九州エリア内での鉄鋼商品の販売強化と取引先に対するサービスの向上のために大型のストックヤード建設に着手し、福岡支店を拡大移転することといたしました結果、現福岡支店の土地に対し減損会計を適用し、今中間期において、特別損失として減損損失 (1,055 百万円) を計上することとなりました。また、特別利益として貸倒引当金の実績率の見直しにより戻入 (558 百万円) が発生いたしました。結果として中間純利益が前回予想を下回る見込みとなりました。

通期予想につきましても、今後も引き続き積極的な営業展開を行い、売上高ならびに経常利益においては、従来予想どおりの業績は確保できるものの、減損損失の影響により、当期純利益においては前回予想を変更するものであります。

なお、上記予想の内容は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、様々な不確定要素が内在しております。実際の業績は鉄鋼商品市況ならびに需要動向により大きく変動する可能性があります。

以 上